

関係者ら80人参加

岡山でNGOセミナー

外務省主催の「官・民間
国際協力NGOセミナー」が
19日、岡山市内のホテルで
NGOや自治体、JICA
(国際協力事業団)の関係
者ら約80人が参加して開か
れた。

外務省の五月女光弘・
民間援助支援室長らがO
DA(政府開発援助)を活
用した補助金制度などを
紹介。パネルディスカッ
ションでは「NGOは自己
満足型から自立型の活動が
求められている」「ボラン
ティアのすそ野を広げる努
力が必要」などと、現状や
課題を指摘する声が相次い
だ。

国際化の進展とともに、
外務省の「NGO事業補
助金制度」「草の根無償
資金協力」予算は年々増
加、事業活動費の最高2
分の1を支援する事業補
助金は約4億5000万
円(1994年度)、途上
国で活動するNGOを支
援する草の根資金協力予
算はこれまでに57カ国、
約14億9000万円に上
っている。

五月女室長は「日本も一
昔前は被援助国だった。途
上国への援助は一層必要
で、NGOや自治体との連
携は欠かせない」と話して
いた。